

第110回日本病理組織技術学会参加報告

富山大学附属病院 田近洋介

2024年8月11日に開催された第110回日本病理組織技術学会に参加し、特集テーマ「人材育成 病理技師教育の在り方・取り組み」で発表を行いました。この特集は、病理技師の教育に焦点を当て、今後の病理技術の発展に重要なテーマとして位置づけられていました。私の発表も、病理の現場における具体的な取り組みや課題について講演しました。

今回の学会では、初の自前でのハイブリッド形式での運営が試みられ、私自身役員としてオンラインと現地参加者の調整役に尽力しました。運営面では大きなトラブルはなく、無事に進行することができましたが、このハイブリッド形式の学会は、今後の学会運営において新たなスタンダードとなり得る可能性を感じました。

また、特集以外でも多くの興味深い発表があり、病理技術の進化を感じることができました。特に「Klüver-Barrera 染色の新しい変法」や「PAM 染色の温故知新」に関する発表は、実務に役立つ情報が多く含まれており、多くの参加者にとっても有益だったと思います。

当日の様子やプログラムの詳細については、

[「https://www.sasappa.co.jp/jsht/program/」](https://www.sasappa.co.jp/jsht/program/)をご覧ください。

